

第6回 運営会議 議事録

日時：平成22年3月17日

場所：府庁本館5階共用会議室

出席委員（敬称省略）

増田 昇（大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授）

澤木 昌典（大阪大学大学院工学研究科 教授）

下村 泰彦（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 准教授）

嘉名 光市（大阪市立大学大学院工学研究科 准教授）

清野 博子（元読売新聞編集委員）

弘本 由香里（大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所（CEL）客員研究員）

吉野 勝（泉佐野観光ボランティア協会）

西台 幸子（うみべの森を育てる会）

議案1：ハード整備について

- ・原則、現地で発生した石や、止む無く伐採する樹木のチップ化などの利用も含めてゼロエミッションとすることが大切。（リデュース、リユース、リサイクルの思想）
- ・休憩所付きトイレの位置は再検討するよう。柵田付近の建物は、正面ではなく側面に設置するもの。
- ・植栽について、臨時駐車場付近は、ウメや桜といった落葉樹だけでは問題。常緑も必要では。
- ・実施設計委託の発注について、皆で考ながら、またパークレンジャーの活動に合わせる必要もあるため、範囲について工夫したほうが良い。実施設計は、もっとスピードを落とす方が良いと思う。
- ・特にコラボレーションエリアの設計は、注意して欲しい。ワークショップ方式で調査を一緒に行う。従来の設計だけでは無く、ハード・ソフト（府民活動プログラム）を含んだ一体的な設計が重要。パークセンターの設計も同様。
- ・コラボレーションエリアでは、工事も3段階が考えられる。
 - 1．専門業者でないと出来ないもの。
 - 2．基盤は専門業者で実施し、上部はパークレンジャーが行うもの。
 - 3．府が材料のみ提供して皆で造るもの。これらを合わせた実施設計が要る。

議案2：パーククラブについて

- ・パークレンジャーの募集などパンフは、法的に問題の無いよう。写真掲載時に注意する

こと。

- ・ イベントのメニューに、簡単なもので良いので、ちょっと造るようなメニューを入れると、参加者は現地に参加していると実感できる。

例えば、枝で額縁を作って、風景を切り取っているような角度で見てもらうようなこと。

- ・ 子供を対象に入れるのか。子供用のメニューを入れるのか。考えておくこと。
- ・ 安全対策に配慮するよう。
- ・ パークレンジャーとよく打合せしながら、イベントの回数なども検討してはどうか。
- ・ 2年以降からは、例えば実行委員会形式で広報戦略を立ててはどうか。